

基礎学力と集中力、学習意欲を育む時間 ～『読書』～

1. ねらい

◎ 読書することで、思考力・表現力を高め、言語知識や創造力を豊かにする。

- 《朝読書》
- ① 1日を落ち着いて過ごすために、気持ちを整える。
 - ② 読書の時間を設け、本に親しむ態度を育む。

2. 目標

- ① 図書室やなかよし号から、自分の読みたい本を探することができる。
- ② 読んだ本についての紹介や感想を簡単に話したり書いたりすることができる。

3. 内容、方法、

《朝読書》 火曜日・水曜日・金曜日 8:05～8:15

- ①火・水曜日の朝読書では、児童がそれぞれ用意した本を静かに読む時間とする。本を好きになるための活動とするため、文章が書かれていれば本の種類は問わない。
- ②金曜日は読解力をつけるための取組を行う。例えば学級全体で共通の文章・本を読み、アニメーションを行ったり、国語の文章題に取り組んだりする方法が考えられる。
- ③成果については、学級経営案の反省の中での児童の交流や、チャレンジテストの結果などから読み取る。

4. 留意点

ア、学期ごとの形成的評価を行い、学級経営、学習計画に役立てる。

会議や打ち合わせ等で、児童の状態を交流し、教職員全体で指導に当たる。

イ、児童の変化を友だち同士が見付け合ったり、励まし合ったりできる学級作りの1つにもする。

ウ、停滞する時期にこそあきらめずに継続することで、忍耐力を養う。

エ、集中力・自学力を身に付ける活動とする。

オ、個の課題を把握し、個別に適切な支援を行えるようにする。

カ、（朝読書）1日の始まりの活動として意欲を持って取り組めるようにしていく。

5. 学校経営への位置づけ

◎ 『特色ある教育活動』の一つとして、経営の重点・学級経営に位置づける。